

介護制度の改善を

山下 秀則 議員

食サービスやショートステイ、高齢者の生きがい活動支援事業、また各種教室の開催などの事業を取り組んでいる。

問 介護家族者のための「レスパイトケア事業」について市の考えは。

市長 介護者に休息を与え、介護のストレスや疲れをいやすことを目的としたレスパイトケア事業については、重要だと考えている。

健康づくり課長 在宅介護家族の方がお互いの悩みや介護の情報を語り合う場として、在宅介護者の会「コスモス」が結成されている。

また、各種施設で開催されている介護教室を紹介し、家族への声かけをし、精神的ケアを行っていくように思っている。

AEDの更なる 公共施設への設置 拡充と周知徹底を

問 全国的に低いAED活用認知を、どう市民へ周知徹底させるか。

市長 筑後市のAEDは寄贈を受け設置している。また、講習会を行い救急処置への対応を図っていく。

問 「小規模多機能型居宅介護事業」の具体的な計画はどうか。

市長 筑後市にはない施設であり、公的介護施設整備事業補助金を活用し整備を進めたい。

問 介護保険を利用しない元気な高齢者への「ボランティアポイント」制度の運用の考えはあるか。

健康づくり課長 筑後市では、地域支援事業として地域デイサービスに力を入れており、多くのボランティア協力委員に活動していただいている。そのほか、給



地域密着型サービス事業所

地域の伝統行事は学校に 生かされているか 五十嵐多喜子 議員

問 今学校では地域のことを学ぶ手段として少しずつ伝統行事が復活。市内の小学校はどうか。

学校教育課長 ハンギリ体験や左義長のように地域の伝統行事を学校行事としている学校が2校。教科として石人山古墳の遺跡、キセル祭り、和紙づくり、船小屋郷、山梶窩、益田素平、久留米餅等の地域の題材を5校が学習に生かしている。

学校が地域の行事に参加している例が6校。伝統を学ぶ学習を9校が実施。

問 校区コミュニティまわりの基本は地域の歴史を知ることだ。知るは感謝。感謝はさらに地域の発展を願うことになる、と思うか。

教育長 地域と保護者と学校で、地域にとってもプラスになることも話し込みをして内容を深めていただきたい。

元気な高齢者讀える しくみづくりを

問 高齢者の方々の環境美化活動や子供たちへの見守りボランティア活動の社会参加は生きがいづくり、健康増進に役立っている。市長のマニフェストに「敬老祝金の見直しと増額」とある。元気な高齢者を称賛す

る仕組みとしての敬老祝金の復活であればより意味があると思うが。

市長 これまで敬老祝金は一般の補助金と同様に扱ってきた。見直しは、ばらまきにならないよう検討したい。

筑後市の 意気込みは

問 「環境自治体ちっご会議」が開かれるが。

市長 前市長時代に大木町からの誘いで大川市とともに共同開催するもの。私のマニフェストでも環境問題は大きな柱だ。環境先進都市を目指すし取り組みたい。



学校行事での左義長(水田小学校)